

大学名：川崎医療福祉大学

住所：岡山県倉敷市松島 288

電話番号：086-462-1111 (代表)

養成開始：2007年度



演習実技授業の風景

学生が指導者となって他の学生を指導している様子

健康運動指導士養成における我が大学の方針、目的や目指す方向性等

本健康体育学科は、運動指導を通して、人々の健康に貢献できる人間性豊かな人材の育成に努めています。カリキュラムは健康学・体育学・医学から構成されており、この3領域の専門教育を行うことが学科の教育方針です。科学的な健康・体力づくりの推進役として、適切な運動処方、実技指導、健康教育ができる指導者の養成をめざしています。

健康運動指導士の養成方法やその特徴

3年次開講の「運動処方演習実技A」が健康運動指導士養成における主要科目です。この授業では、生活習慣病の予防・改善および介護予防を目的とした運動プログラムの作成と実践に重きを置いています。個別指導の実習として、中高年者を想定したロールプレイングを取り入れ、コミュニケーションの技術、技法を学び、適切な運動処方作成ができる取り組みをしています。また、集団模擬指導のなかで受講者全員が指導者としての役割を経験し、次の現場実習（運動処方演習実技B）への理解を深め、モチベーションを高めています。さらに、指導現場の一線で活躍している本学卒業生を外部講師に招き、様々な視点からアドバイスをもらっています。

我が大学の魅力・PRポイント

地域住民とのかかわりとして、中高年者を対象とした健康・スポーツ教室（倉敷市との連携事業、全10回）を、また水中運動講座（学科の公開セミナー、前期4回・後期4回）を、大学施設を利用して開催しています。指導には大学の教員や学生があたっています。なお、2015年度からの健康・スポーツ教室は、運動を通して健康づくりを積極的に推進するリーダー育成に重きを置き、倉敷市周辺の市町村からも広く参加者を募っています。

その他（今後取り組みたいこと等）

健康運動指導士の知名度アップのために、普及・啓蒙活動をこれまで以上に行っていきたいです。ここ数年の実例としては「健康運動指導士という資格と職業」の話を、①オープンキャンパスでのミニ講義、②高校への出張講義、③中学生を招いての講義で実施しました。